

平成 31 年度事業計画

鹿島水先区水先人会

本会の設立目的は、水先法の目的に鑑み、会員の品位を保持し、水先業務の適正かつ円滑な遂行に資するため、合同事務所の設置及び運営、水先人の養成並びに会員の指導、連絡及び監督に関する事務を行うことである。

これらの目的を達成するため、本会は、会則第 4 条に次の事業を定めている。

- (1) 会員の品位保持に関する諸施策を実施すること。
- (2) 合同事務所の設置及び運営に関する事務を行うこと。
- (3) 水先人の養成に関し必要な事務を行うこと。
- (4) 本会及び会員の業務に関し日本水先人会連合会及び官公署と連絡協議すること。
- (5) 前各号に掲げるもののほか、会員に対する指導、連絡及び監督に関する諸施策その他本会の目的を達成するため必要な施策を実施すること。

1. 重点事業

- ・利用者の信頼に応え得る水先業務の遂行及び引受窓口業務の円滑な実施を図る。
- ・東北地区内（釜石水先区）における相互連携（派遣支援）に向けて、複数免許（2人目）の取得を進める。
- ・平成30年6月から本格運用された外港公共埠頭の安全運航に向けて、パース管理者、曳船及び船舶代理店等とより一層の情報共有を図る。

2. 各事業

平成31年度は、次の具体的事業を行う。

(1) 適正化事業

- ・会員による水先業務の適正な運営に関する指導、連絡及び監督
- ・会員の技術向上及び健康管理など品質管理に関する事業の推進
- ・ユーザー対応窓口の運営による利用者意見の聴取
- ・日本水先人会連合会の目的を達成し、併せて海事の振興に必要と認められる事業への協力

(2) 水先人の養成関連事業

- ・水先人会における所要の再教育訓練の実施及び日本水先人会連合会が実施する訓練への参加促進
- ・釜石水先区派遣支援に必要な複数免許取得のための水先実務修習の実施。

(3) 業務取次窓口業務

- ・会員が行う水先業務の引受けに関する事務の適確な実施
- ・会員のための料金收受事務の適確な実施

(4) その他の事業

- ・水先要請に必要な情報及び本会に関する諸情報を日本水先人会連合会及び本会ホームページにより公開する。

以 上